



南の目指す生涯学習社会

～みんなが元気に みんなが幸せに～

今号では、夏休み中に行われた事業を紹介します。

令和4年度 つながり、広げる子どもの読書応援事業

「県南地区読み聞かせボランティア養成講座」

8月8日・10日 横手市交流センターY2ぷらざ

この事業は子どもと本をつなぐ人材を継続的に育成・支援するために、絵本等の読み聞かせを行う人材を養成するものです。県南ブックコミュニティ会員の皆さんが講師となり、19名（高校生16名と一般3名）が参加しました。初日は、講師による実演のほか、4グループに分かれ、絵本の持ち方や読み方などの練習を行い、2日目は3グループに分かれて読み聞かせ発表会を行いました。

- ・ 基本的なところから細かいところ、応用できるポイントまで教えていただき、初めてでもとても心強かった。
- ・ 登場人物の性別や年齢に合わせて声の速度を変えたり、絵では表現されていない描写もしっかりと想像して間を開けたりすると、読み聞かせがよりリアルになってとても勉強になった。
- ・ 将来につながる大切な経験ができた。保育士を目指す上で読み聞かせのスキルは必要なので、もっと上達できるようにしたい。
- ・ これからももっとたくさんの本に出会いたい。



グループ練習



発表会

保育士を目指す高校生が多く参加し、読み聞かせのノウハウを真剣な表情で学び、将来に役立つ貴重な経験を積んでいました。この講座を機会に読み聞かせの輪が広がっていくことを期待します。

横手市夏休み子ども教室

「卓球バレーにチャレンジ」

8月2日 十文字コミュニティセンター

障害者でも楽しめるように工夫された種目で公式ルールもあります。教育活動支援員の説明をよく聞き、仲間と声を掛けながらゲームを楽しみ、歓声を上げて喜んでいました。



家族留学 ～仙北市子ども演劇教室

8月4～7日 わらび座

県外から家族留学で訪れた8名を交え、子どもたちは滅多にできない演劇体験をおし、物怖じせず挑戦する力や、体と声を使って他の人に伝える表現力を身につけようと努力していました。

